

2011年5月号  
No.499

# りゅうぎん調査

2011年5月号

Bank of the Ryukyus'  
Okinawan Economic Review

No.499



琉球銀行



りゅうぎん総合研究所

## 県内の景気動向

概況（2011年3月）

### 景気は、後退しつつある

観光関連では、入域観光客数が前年を下回る

消費関連では、スーパー売上高が既存、全店ともに前年を上回る

3月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店売上高は主力である衣料品の減少などから前年を下回った。スーパー売上高は、食料品の増加から引き続き前年を上回り、全店でも引き続き前年を上回った。電気製品卸売は、前年を上回ったものの、新車販売は、エコカー補助金制度の終了から引き続き前年を下回った。建設関連では、公共工事請負金額は、国、県発注の大型案件により引き続き前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共、民間工事ともに大型案件の受注により引き続き前年を上回った。建設資材出荷・売上では、セメント、鋼材、木材は前年を上回ったものの、生コンは前年を下回った。入域観光客数は、東日本大震災の影響により国内客、外国客ともに大幅に減少したことから引き続き前年を下回った。主要ホテルは、稼働率はリゾート、那覇市内ともに低下したことから引き続き前年を下回り、売上高も引き続き前年を下回った。主要観光施設の入場者数も、引き続き前年を下回った。

総じてみると、消費関連は底堅いものの、観光関連が弱く、建設関連も弱含んでいることから、県内景気は後退しつつある。

### 消費関連

百貨店売上高は、食料品は増加したものの、一部で改装のため衣料品フロアが閉店したことにより衣料品が減少したことなどから3カ月ぶりに前年を下回った。スーパー売上高（既存店）は、衣料品は減少したものの、食料品が増加したことなどから6カ月連続で前年を上回った。全店ベースでも6カ月連続で前年を上回った。新車販売は、エコカー補助金制度が終了したことなどにより6カ月連続で前年を下回った。電気製品卸売販売は、エコポイント終了による駆け込み需要が一部のみられたことから2カ月ぶりに前年を上回った。

### 建設関連

公共工事請負額は、国、県で大型案件があったことなどから3カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共、民間工事ともに大型案件があったことから前年を上回った。建設資材関連では、セメントは3カ月ぶりに前年を上回ったが、生コンは2カ月ぶりに前年を下回った。鋼材は、一部大口需要などにより3カ月ぶりに前年を上回った。木材は、東日本大震災の影響による品不足に対応するための在庫確保の需要などにより5カ月連続で前年を上回った。

### 観光関連

入域観光客数は、東日本大震災の影響で国内客、外国客が大幅に減少したことから、4カ月連続で前年を下回った。県内主要ホテルは、稼働率は、那覇市内、リゾートともに低下し、2カ月連続で前年を下回った。売上高も、那覇市内、リゾートともに減少し5カ月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、5カ月連続で前年を下回った。主要ゴルフ場入場者数は、3カ月連続で前年を下回った。

### 雇用関連

新規求人数（2月）は前年同月比22.3%増となり6カ月連続で増加した。有効求人倍率（季調値）は0.31倍と前月より上昇した。完全失業率（季調値）は6.4%と前月から1.3ポイント改善した。

### その他

消費者物価指数（2月）は、教育、家具・家事用品、被服・履物などが下落したことから、前年同月比0.1%減と3カ月連続で前年を下回った。企業倒産は、件数が9件と前年同月より7件増加し、負債総額は9億1,900万円となり前年同月比182.8%の増加となった。

# りゅうぎん調査(2011年3月)

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2011.1 - 2011.3)
<b>1.消費関連</b>		
(1)百貨店(金額)	6.4	1.2
(2)スーパー(既存店)(金額)	2.3	2.6
(3)スーパー(全店)(金額)	3.6	4.0
(4)新車販売(台数)	31.6	22.9
(5)電気製品卸売(金額)	0.1	1.4
<b>2.建設関連</b>		
(1)公共工事請負金額(金額)	18.1	36.4
(2)建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(2月) 26.9	(12-2月) 25.3
(3)新設住宅着工戸数(戸)	(2月) 29.6	(12-2月) 1.5
(4)建設受注額(金額)	62.9	14.6
(5)セメント(トン数)	0.2	2.1
(6)生コン(m <sup>3</sup> )	7.7	4.8
(7)鋼材(金額)	7.5	5.6
(8)木材(金額)	49.4	24.7
<b>3.観光関連</b>		
(1)入域観光客数(人数)	19.9	9.7
(2)県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) 14.5 (実数) 60.6	(前年同期差) 6.3 (実数) 65.1
(3) " 売上高(金額)	19.2	9.4
(4)観光施設入場者数(人数)	21.1	13.2
(5)ゴルフ場入場者数(人数)	7.6	5.0
(6) " 売上高(金額)	14.6	6.9
<b>4.その他</b>		
(1)県内新規求人数(人数)	(2月) 22.3	(12-2月) 15.7
(2)有効求人倍率(季調値)	(実数、2月) 0.31	(実数、12-2月) 0.31
(3)消費者物価指数(総合)	(2月) 0.1	(12-2月) 0.3
(4)企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 7	(前年同期差) 3.3
(5)広告収入(県内マスコミ)(金額)	(2月) 1.0	(12-2月) 3.2
(6)電力使用量(百万Kwh)	(2月) 0.7	(12-2月) 1.2

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。

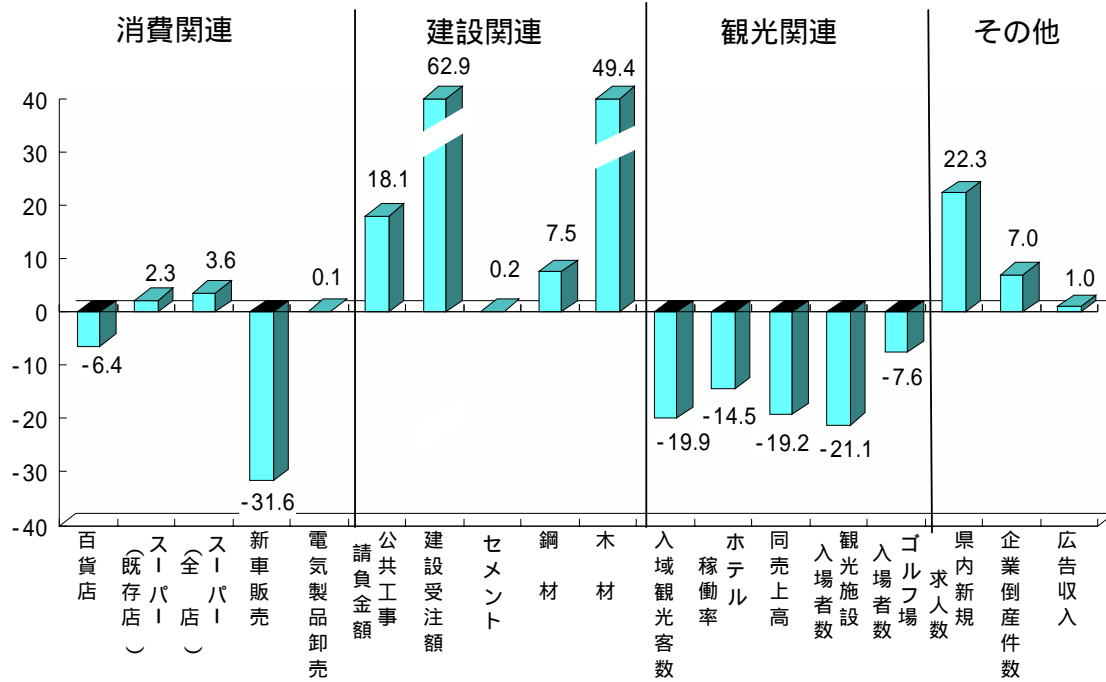
(注2) 電気製品卸売は、2010年4月より調査先を7社から4社とした。

(注3) 主要ホテルは、2010年9月より調査先を18ホテルから19ホテルとした。

(注4) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先を6施設から5施設とした。

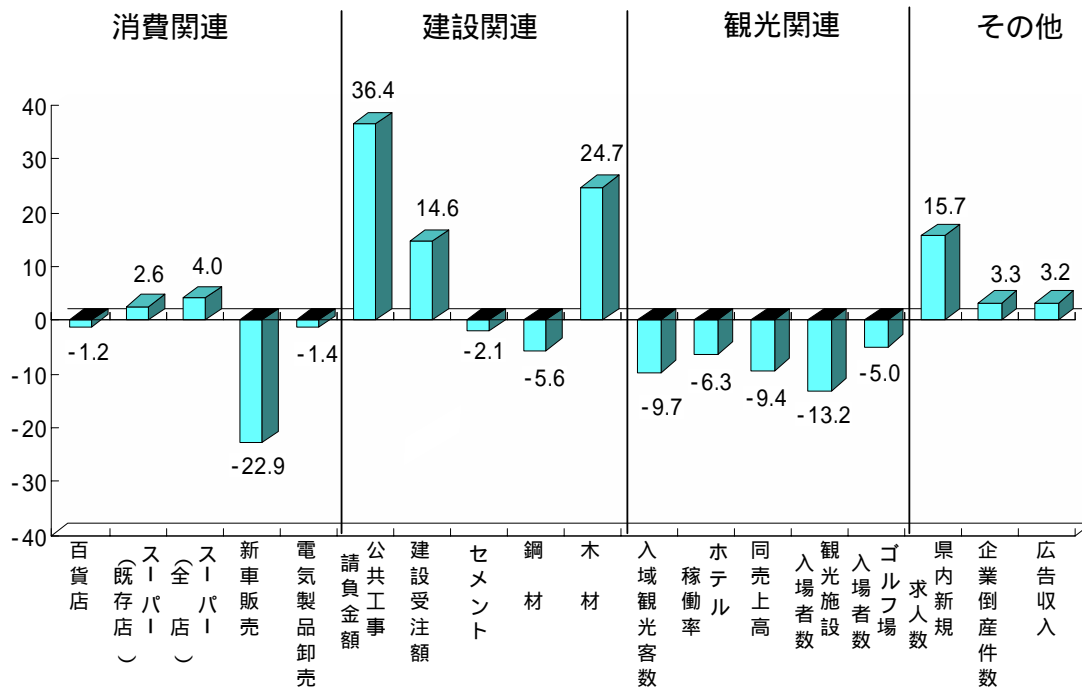
(注5) 企業倒産件数の前年同期差は、月平均件数の前年同期差。

項目別グラフ(単月、2011年3月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は11年2月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

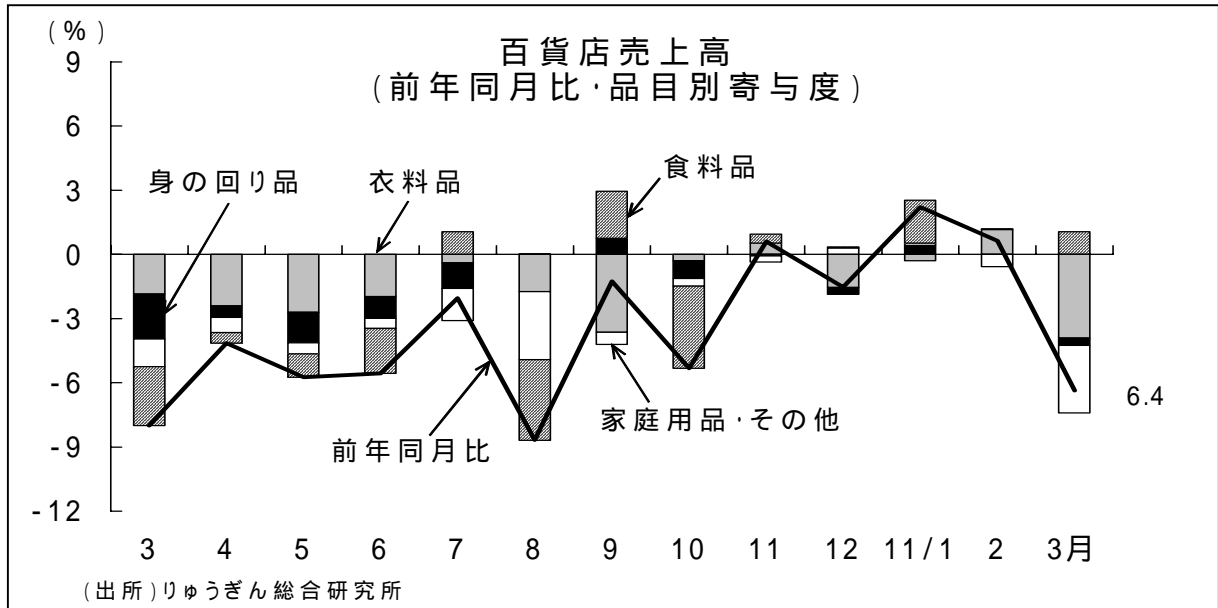
項目別グラフ(3カ月、2011年1~3月)



(注) 県内新規求人数、広告収入は11年12月~11年2月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

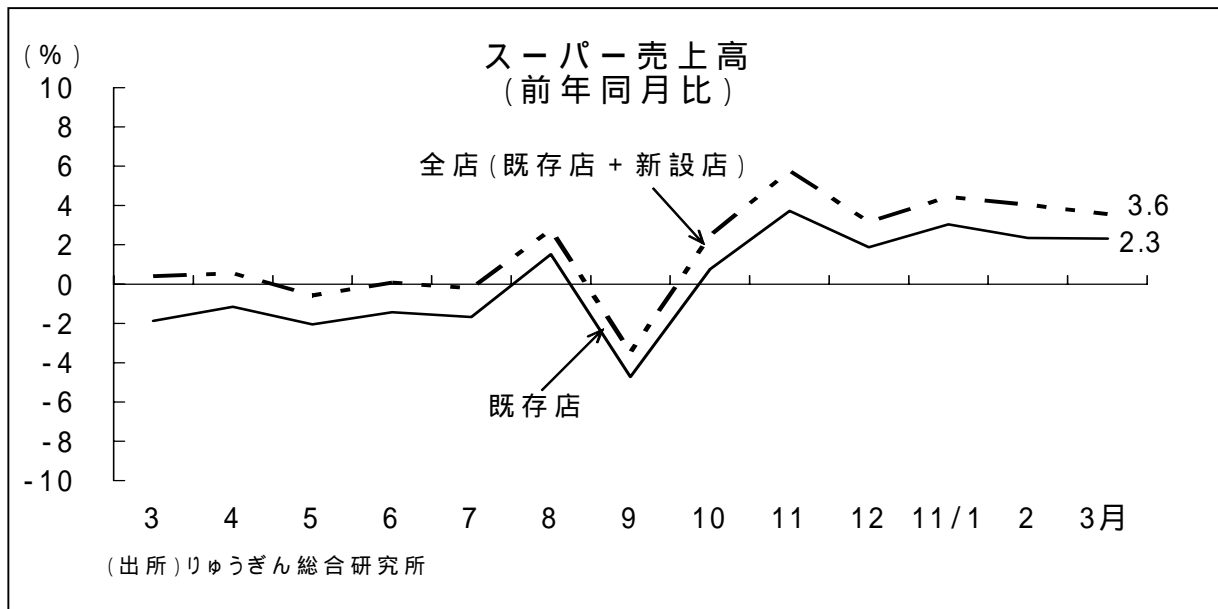
# 1. 消費関連

## (1) 百貨店売上高：3カ月ぶりに減少



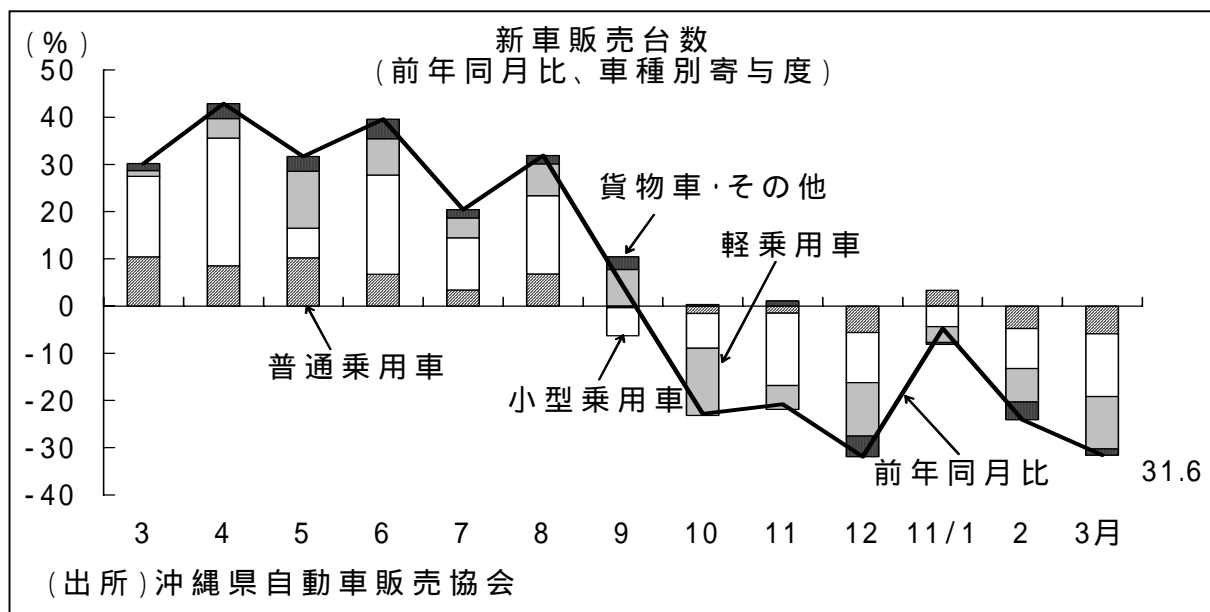
- 百貨店売上高は、前年行われなかった物産展が開催されたことなどにより食料品が増加したものの、一部で改装のため衣料品フロアが閉店したことや前年より気温が低かったことにより春夏商品が不振だったことなどから衣料品が減少し、前年同月比6.4%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- 品目別にみると、食料品(同3.6%増)が増加し、衣料品(同10.5%減)、身の回り品(同3.5%減)、家庭用品・その他(同13.4%減)が減少した。

## (2) スーパー売上高：全店ベースは6カ月連続で増加



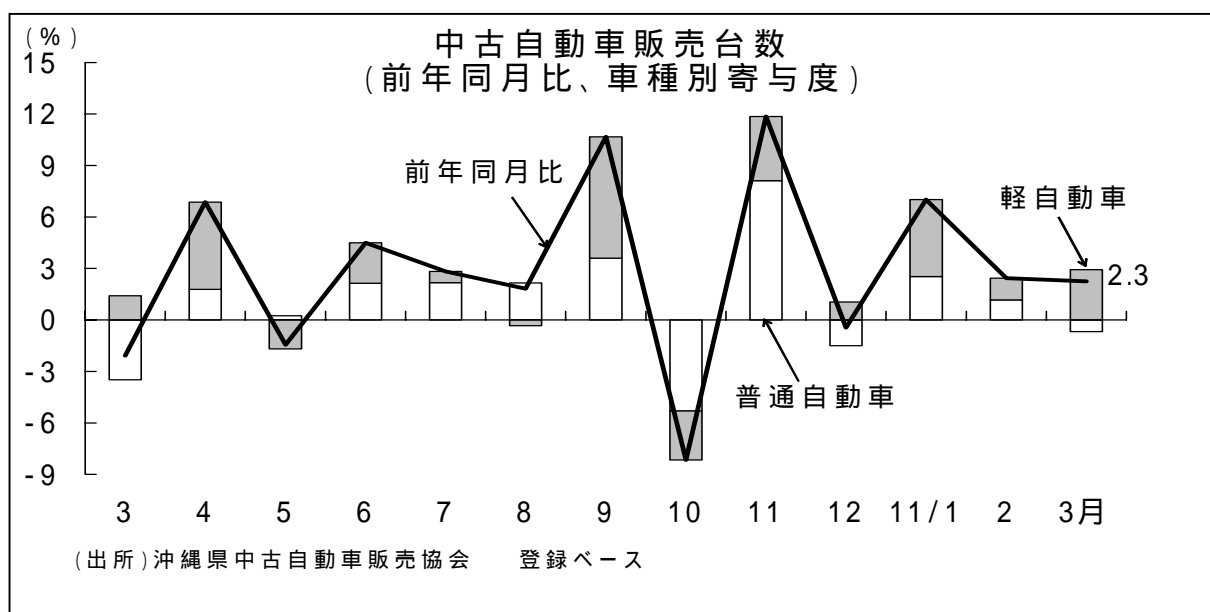
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比2.3%増と6カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は単価が下げ止まり、購入点数が増加したことなどから同2.3%増となり、衣料品は前年に比べ気温が低く推移したことから同4.5%減となった。
- 全店ベースは、新設店効果などから3.6%増と6カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：6カ月連続で減少



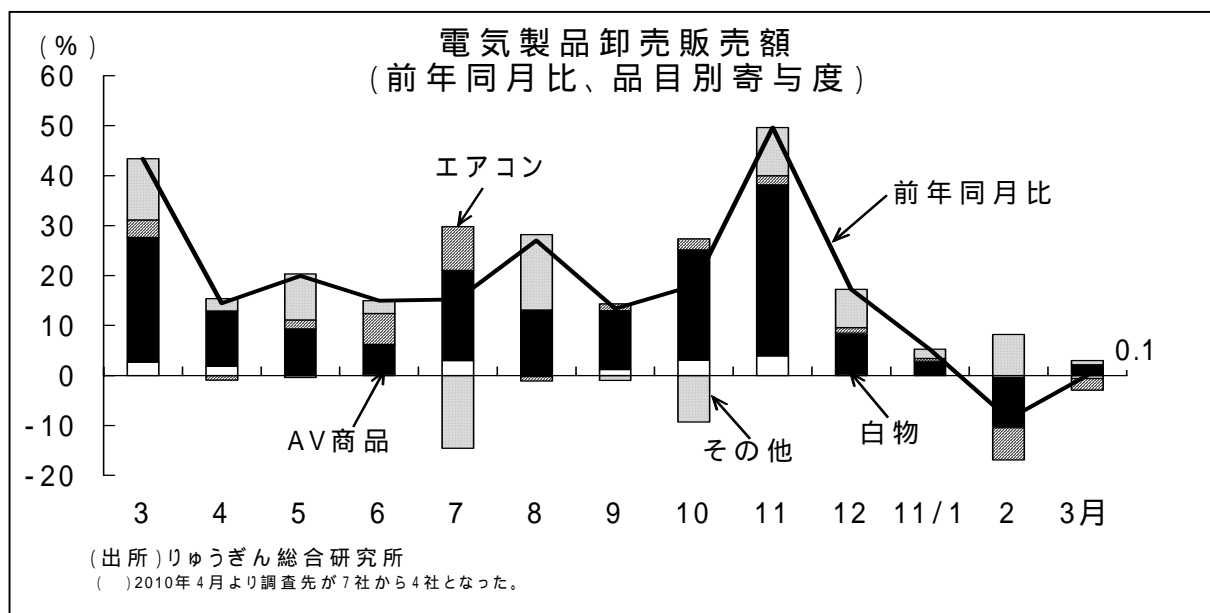
- ・ 新車販売台数は 3,471 台となり、エコカー補助金制度が終了したことや東日本大震災の影響により車の納入が遅れていることなどから前年同月比 31.6%減と 6 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は 1,625 台（同 37.7%減）で、うち普通乗用車は 406 台（同 42.4%減）、小型乗用車は 1,022 台（同 39.7%減）であった。軽自動車（届出車）は 1,846 台（同 25.0%減）で、うち軽乗用車は 1,547 台（同 26.6%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：3カ月連続で増加



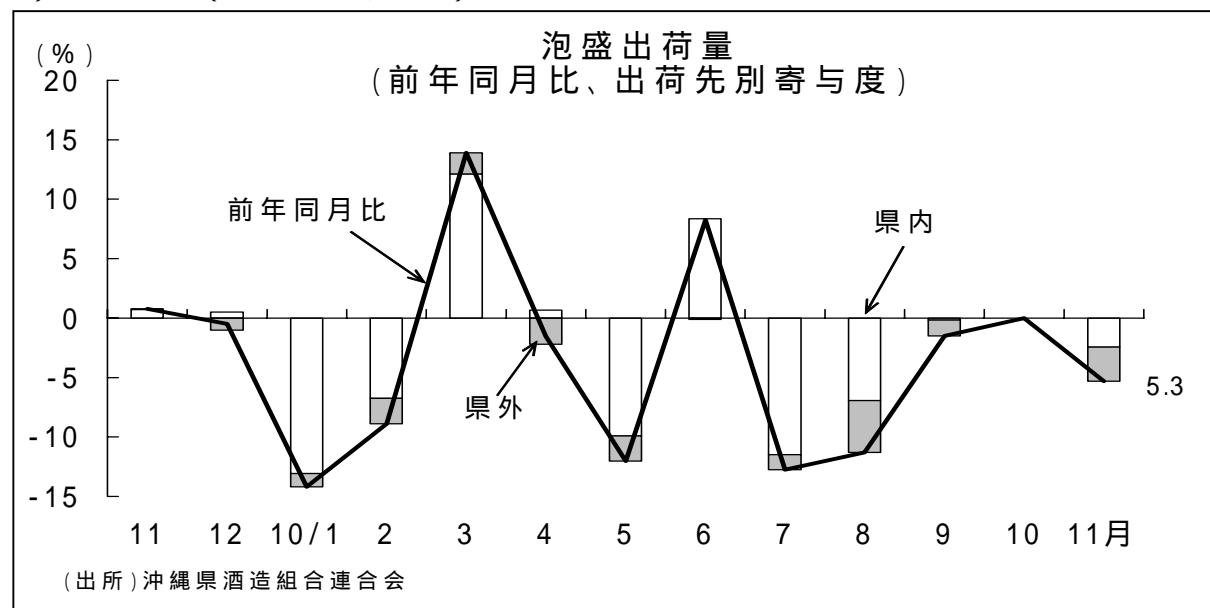
- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、前年同月比 2.3%増となり 3 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は同 1.5%減、軽自動車は同 5.1%増となった。

(5) 電気製品卸売販売額：2カ月ぶりに増加



- 電気製品卸売販売額は、3月末で終了したエコポイントの駆け込み需要が一部でみられたことなどから前年同月比0.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。しかし、エコポイントが半減する前の10年11月頃に大きな駆け込み需要があったことや東日本大震災による自粛ムードなどから、増加幅は小さかった。
- 品目別にみると、AV商品ではテレビが同0.3%減、DVDレコーダーが同77.7%増、白物では洗濯機が同6.7%減、冷蔵庫が同9.7%減、エアコンが同27.4%減、その他は同1.6%増となった。

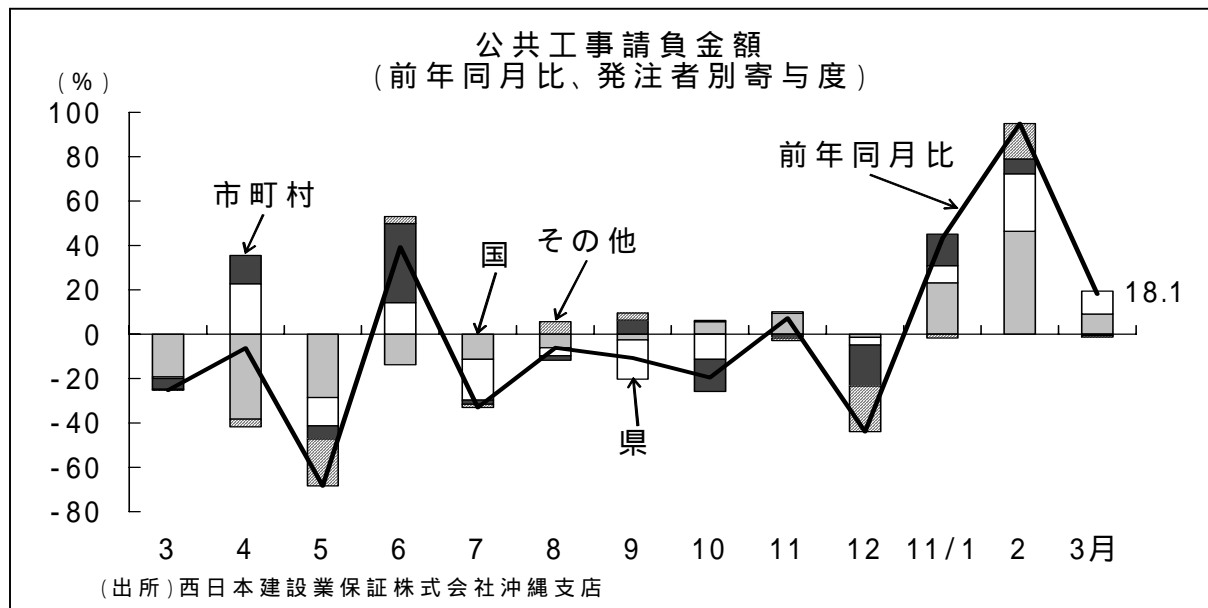
(6) 泡盛出荷量(速報ベース、再掲)：2カ月ぶりに減少



- 泡盛出荷量(11月)は、前年同月比5.3%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- 県内出荷量は同2.9%減となり、県外出荷量は同17.2%減となった。

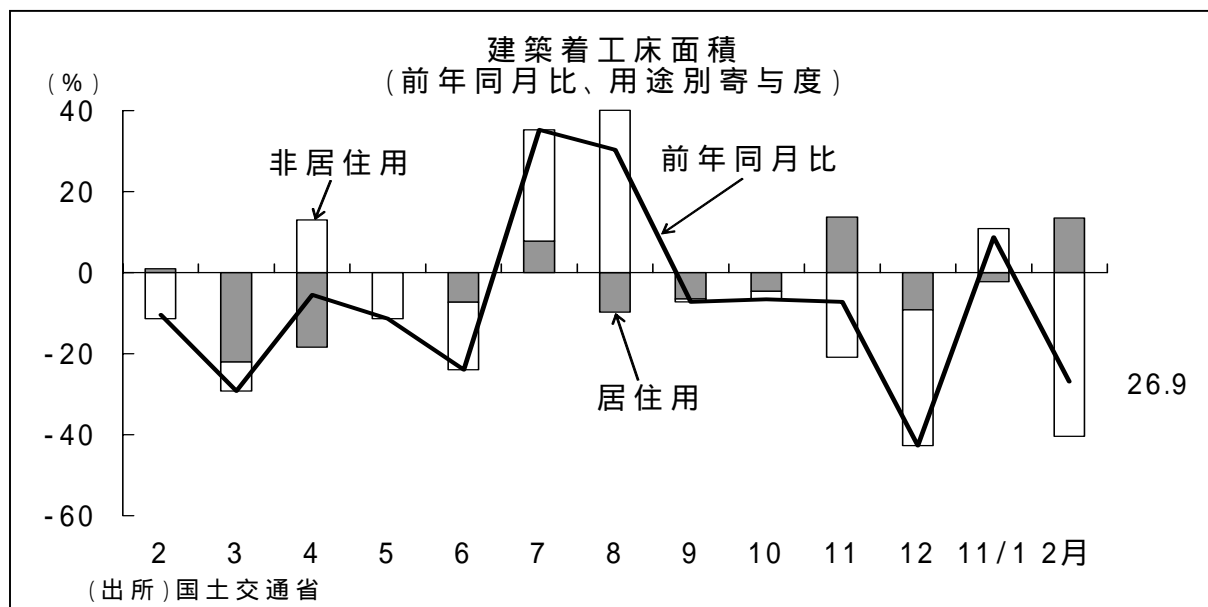
## 2. 建設関連

### (1) 公共工事請負金額：3カ月連続で増加



- 公共工事請負金額は、410億2,700万円の前年同月比18.1%増となり、国、県で大型案件の発注があったことなどから、3カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国（同41.6%増）、県（同19.8%増）が増加し、市町村（同2.4%減）、独立行政法人等・その他（同27.9%減）が減少した。
- 大型工事としては、那覇港（泊ふ頭地区）港湾施設用地（耐震）築造工事、那覇浄化センター汚泥脱水機械設備工事、伊良部大橋橋梁整備第5期工事などがあつた。

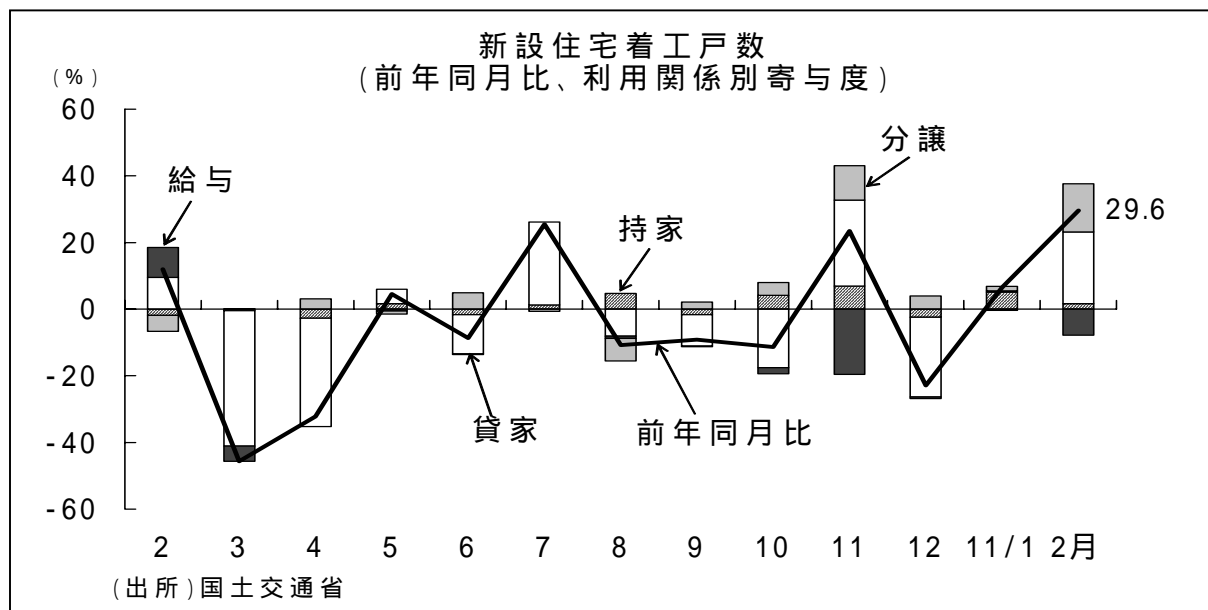
### (2) 建築着工床面積：2カ月ぶりに減少



- 建築着工床面積（2月）は、10万6,320㎡の前年同月比26.9%減となり、非居住用が大幅に減少したことから、2カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用が同27.2%増となり、非居住用は同80.3%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では居住専用が増加した。非居住用では、医療、福祉業用などが増加し、学習支援業用、不動産業用などが減少した。

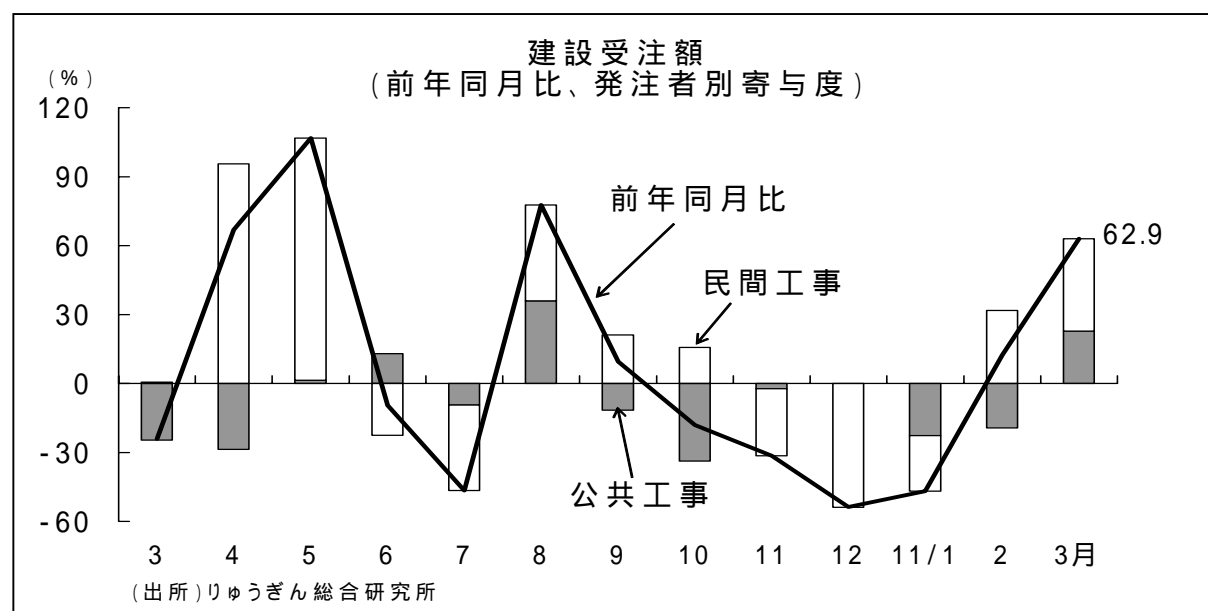


(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で増加



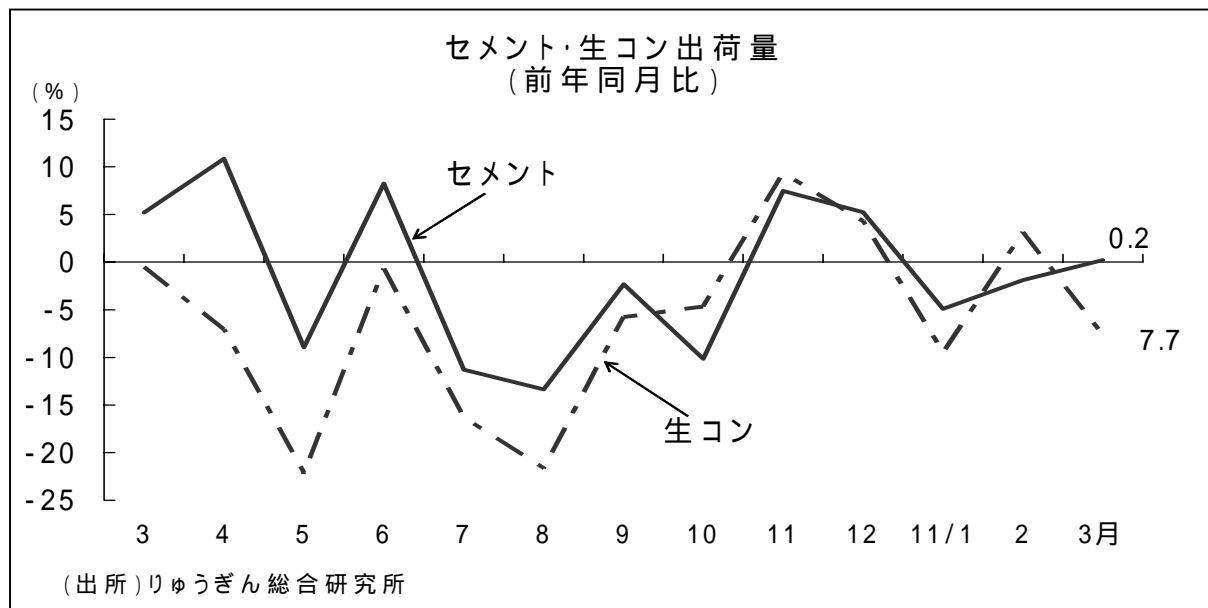
- ・ 新設住宅着工戸数(2月)は1,095戸となり、貸家が公営住宅の建替えて増加したことなどから、前年同月比29.6%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、貸家(同35.9%増)、持家(同7.2%増)、分譲(同162.7%増)が増加し、給与(全減)が減少した。

(4) 建設受注額：2カ月連続で増加



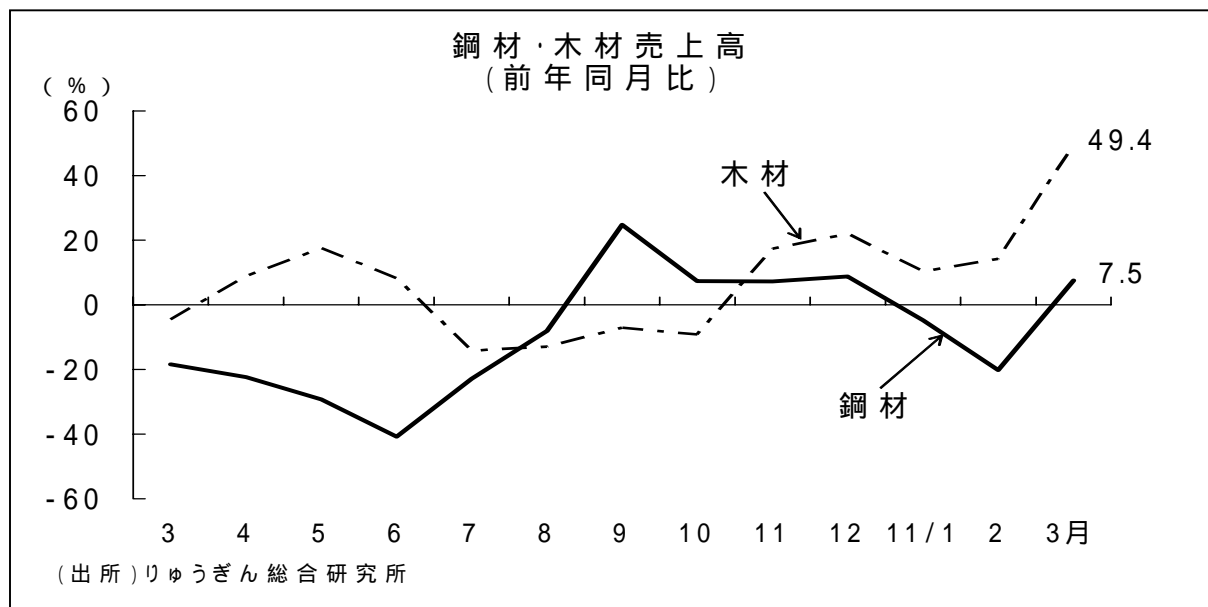
- ・ 建設受注額(調査先建設会社：20社)は、公共工事、民間工事ともに大型案件の受注などにより大幅に増加したことから、前年同月比62.9%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事(同39.2%増)は3カ月ぶりに増加し、民間工事(同95.8%増)は2カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは3カ月ぶりに増加、生コンは2カ月ぶりに減少



- ・ セメント出荷量は、7万1,237トンとなり前年同月比0.2%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 生コン出荷量は、13万8,439立方メートルで同7.7%減と2カ月ぶりに前年を下回った。民間工事向け出荷は増加したものの、公共工事向け出荷は減少した。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、米軍関連工事向けなどが増加し、学校関連や公営住宅工事向けなどが減少した。民間工事では、戸建てや分譲マンション向け、医療関連工事向けなどが増加し、ホテル建築工事向けなどが減少した。

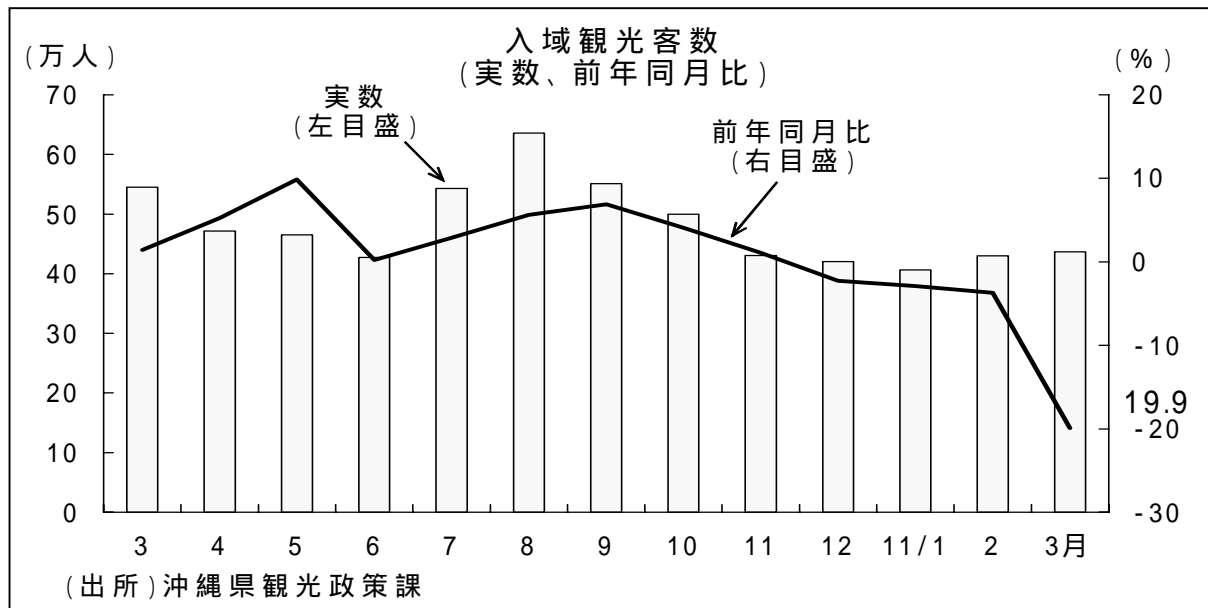
(6) 鋼材・木材：鋼材は3カ月ぶりに増加、木材は5カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高は、一部で大口需要があったことや単価の上昇などから、前年同月比7.5%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、東日本大震災の影響による品不足に対応するための在庫確保の需要や学校関連向け出荷などから同49.4%増と5カ月連続で前年を上回った。

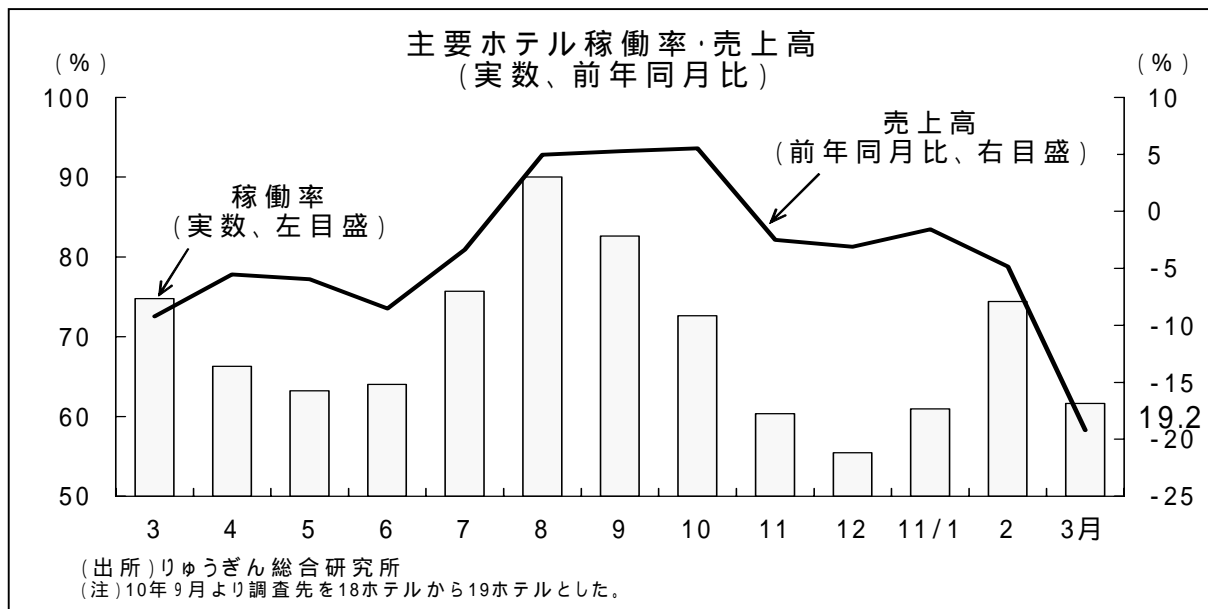
### 3. 観光関連

#### (1) 入域観光客数：4カ月連続で減少



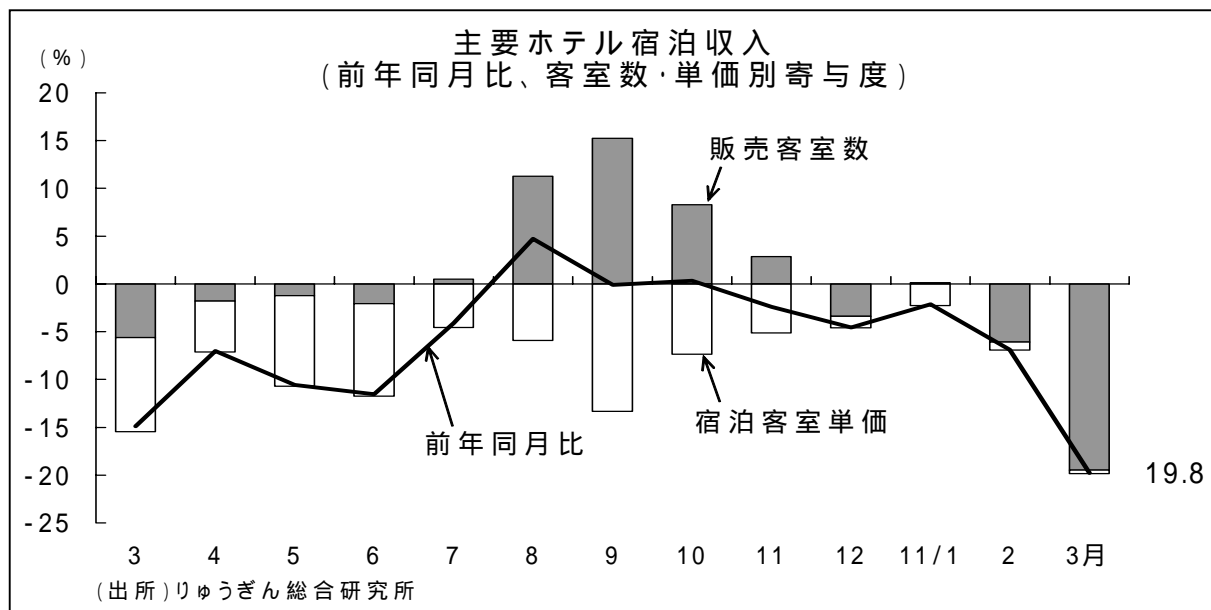
- ・ 入域観光客数は43万6,400人と、東日本大震災の影響で、前年同月比19.9%減(10万8,500人減)となり、4カ月連続で前年を下回った。国内客、外国客ともに減少した。
- ・ 空路入域客数は、国内客、外国客がともに大幅に減少したことから、43万300人(同19.3%減)と、4カ月連続で前年を下回った。海路入域客数は、国内客は微減に止まったものの、外国客が大幅に減少し、6,100人(同47.0%減)と、2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 4月1日～20日の本土発沖縄向け航空旅客輸送実績(スカイマークエアラインを除く)は前年同月比27.7%減となり、5カ月連続で前年を下回った。

#### (2) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は2カ月連続で低下、売上高は5カ月連続で減少



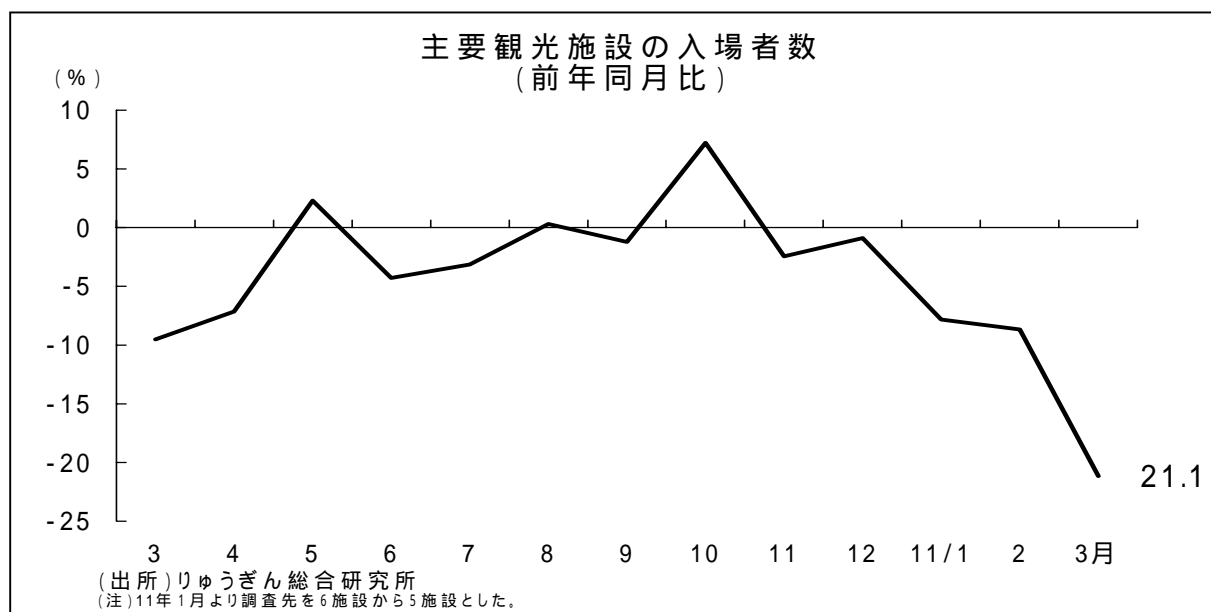
- ・ 主要ホテルは、客室稼働率は60.6%と前年同月比14.5%ポイント低下し2カ月連続で前年を下回った(調査先変更後前年客室稼働率75.1%)。売上高は同19.2%減少し5カ月連続で前年を下回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、客室稼働率63.6%と同12.7%ポイント低下(同前年稼働率76.3%)し、売上高は同17.1%の減少となった。リゾート型ホテルは、客室稼働率58.7%で同15.7%ポイント低下し、売上高は同20.4%の減少となった。

( 3 ) 主要ホテル宿泊収入：5 カ月連続で減少



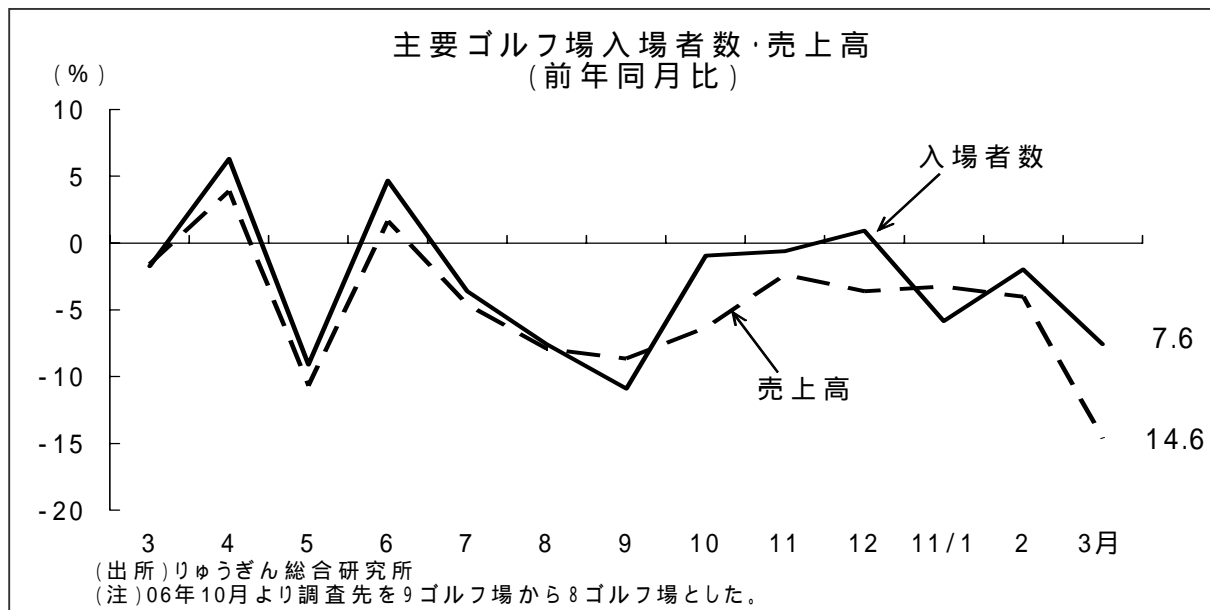
- ・ 主要ホテル売上高のうち宿泊収入についてみると、宿泊客室単価（価格要因）が微減にとどまったものの、販売客室数（数量要因）が大幅に減少し、前年同月比 19.8%減と、5 カ月連続で前年を下回った。

( 4 ) 主要観光施設の入場者数：5 カ月連続で減少



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 21.1%減となり、5 カ月連続で前年を下回った。

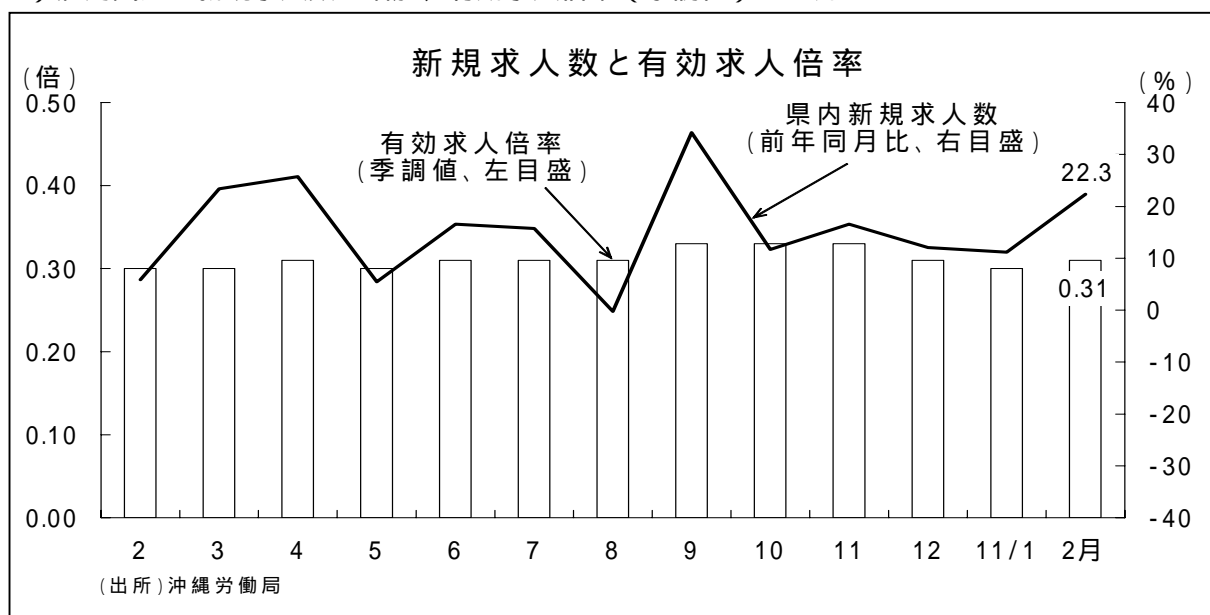
(5) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は3カ月連続で減少、売上高は9カ月連続で減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、県外客を中心にキャンセルが相次ぎ、前年同月比 7.6%減と3カ月連続で前年を下回った。売上高は同 14.6%減となり9カ月連続で前年を下回った。

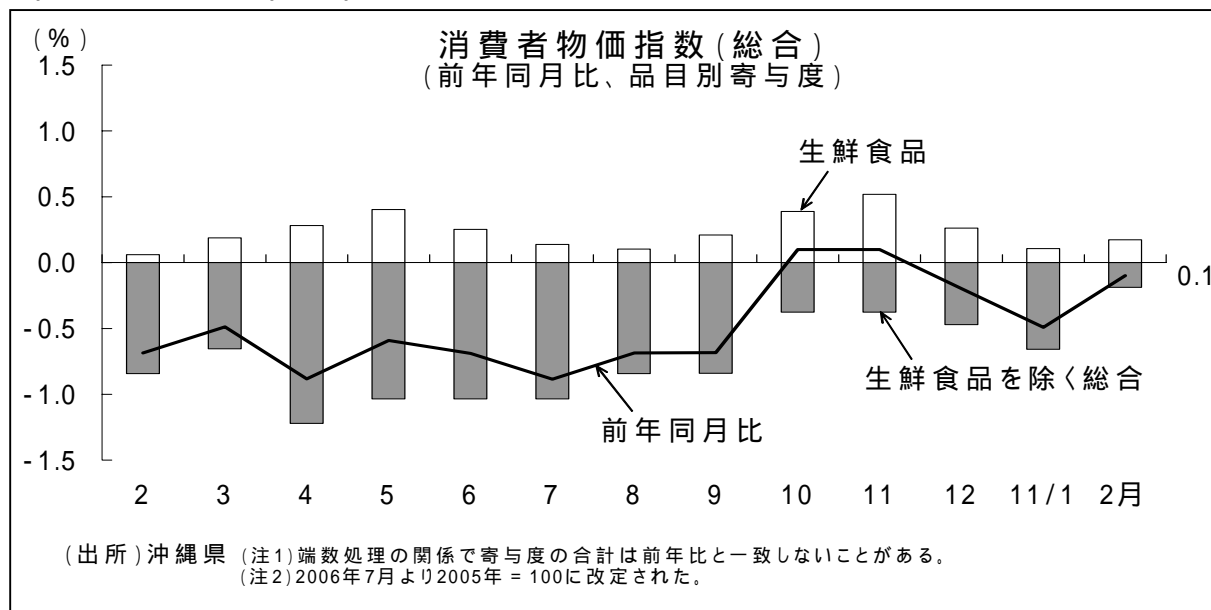
## 4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は増加、有効求人倍率(季調値)は上昇



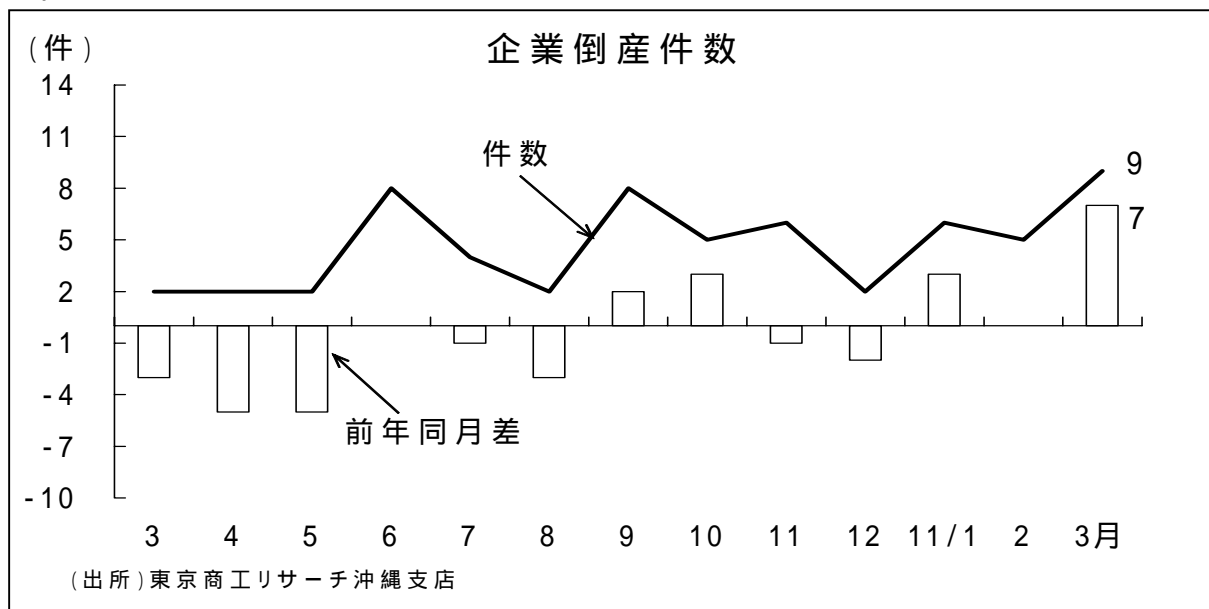
- ・ 新規求人数(2月)は、前年同月比 22.3%増となり6カ月連続で増加した。産業別にみると、生活関連サービス業、娯楽業、宿泊業、飲食サービス業、教育、学習支援業、情報通信業、医療、福祉業などで増加し、建設業、金融、保険業、複合サービス業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は0.31倍となり、前月より上昇した。
- ・ 労働力人口(2月)は、66万9,000人で前年同月と同数となり、就業者数は、62万5,000人で同1.5%増となった。完全失業者数は4万4,000人で同18.5%減となった。完全失業率(季調値)は6.4%と前月より1.3ポイント改善した。

(2) 消費者物価指数(総合): 3カ月連続で下落



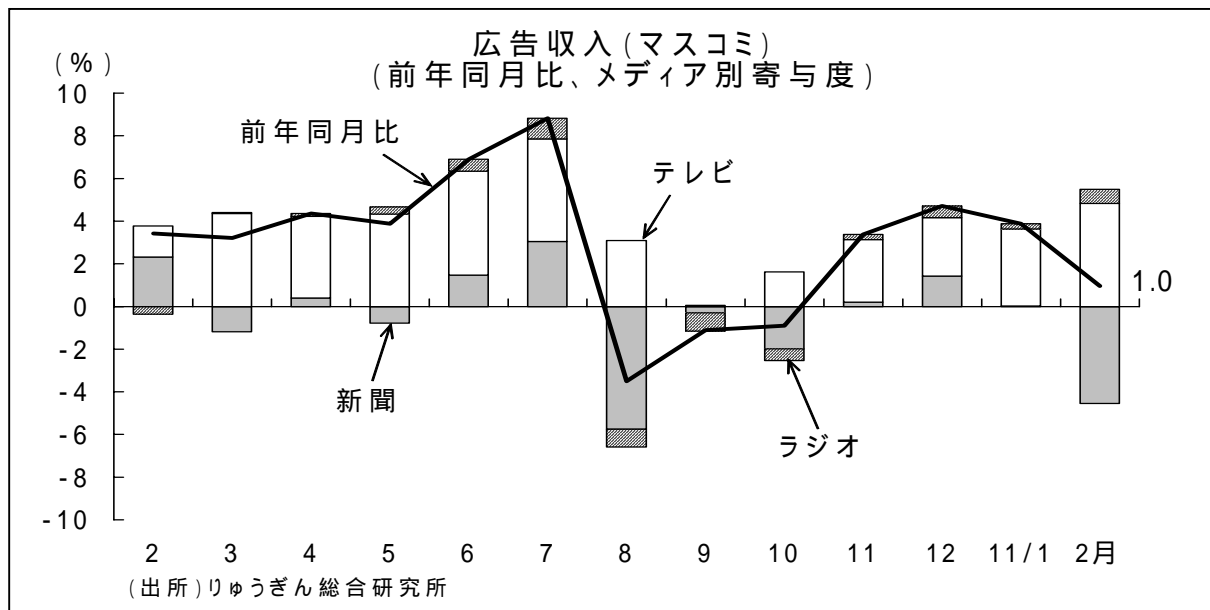
- ・ 消費者物価指数(2月)は、前年同月比 0.1%減と3カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合も、同 0.2%減と下落した。
- ・ 品目別の動きをみると、食料、住居、光熱・水道、交通・通信、教養娯楽、諸雑費などが上昇し、教育、家具・家事用品、被服・履物、保健医療などが下落した。

(3) 企業倒産: 件数、負債総額ともに増加



- ・ 倒産件数は、9件となり前年同月より7件増加した。業種別では、建設業3件(前年同月比2件増)、小売業3件(同3件増)、卸売業1件(同数)、情報通信業(同1件増)、サービス業1件(同1件増)であった。
- ・ 負債総額は9億1,900万円となり、前年同月比182.8%の増加となった。

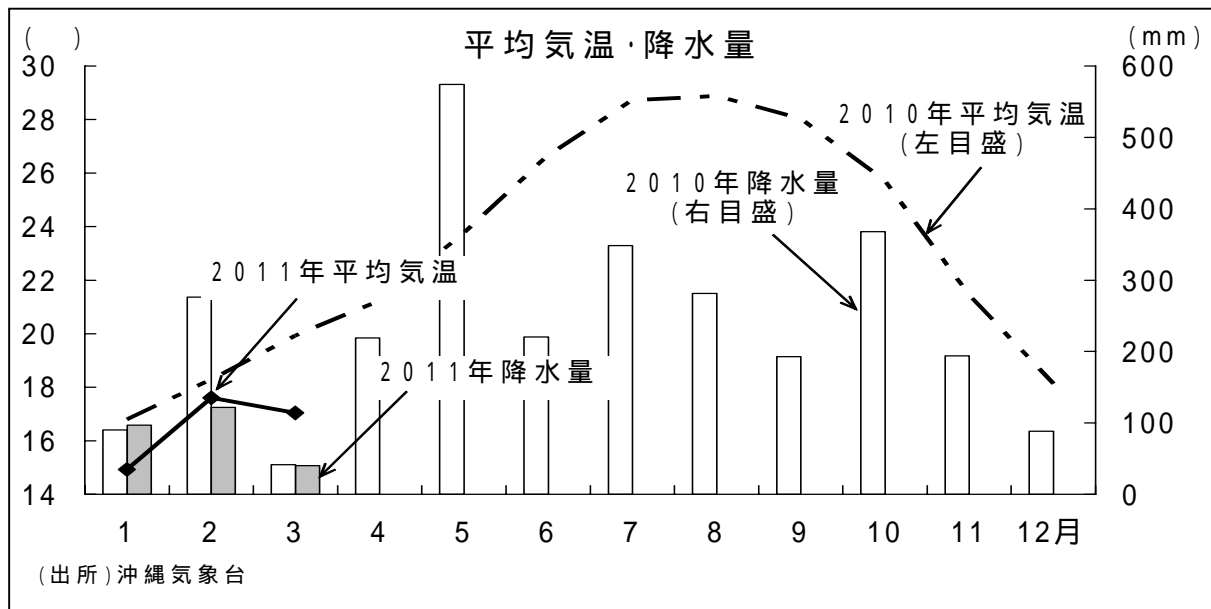
(4) 広告収入(マスコミ): 4カ月連続で増加



- ・ 広告収入(マスコミ: 2月)は、前年同月比 1.0%増となり4カ月連続で前年を上回った。新聞が前年を下回ったものの、テレビ、ラジオが前年を上回った。

(参考)

気象: 平均気温・降水量(那覇)



- ・ 平均気温は 17.0 と前年同月(19.9)、平年(18.6)よりも低かった。降水量は 40.0mm と前年同月(41.5mm)より少なかった。

沖縄県内の主要経済指標.....	16
"    金融統計.....	18



## 沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	泡盛 出荷量	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2008	2.1	0.1	2.7	4.5	1.1	4.0	254,597	3.5	1,950.6	5.6
2009	9.4	2.0	0.9	6.7	10.9	3.2	285,283	12.1	1,888.1	3.2
2010	5.2	0.6	0.9	24.0	13.9	-	224,019	21.5	1,630.5	13.6
2010 2	8.6	1.4	2.2	54.1	29.4	8.9	9,582	37.7	145.4	10.4
3	8.0	1.9	0.4	43.4	30.2	13.9	34,742	25.2	129.9	29.2
4	4.1	1.2	0.5	14.4	42.8	1.5	11,784	6.3	119.4	5.4
5	5.7	2.1	0.6	19.9	31.7	12.0	6,773	68.4	106.7	11.3
6	5.6	1.4	0.1	15.0	39.6	8.3	25,423	39.3	138.4	23.9
7	2.0	1.7	0.2	15.2	20.4	12.7	17,515	33.0	185.6	35.2
8	8.7	1.5	2.8	27.0	31.9	11.3	20,757	6.1	181.0	30.3
9	1.3	4.7	3.5	13.4	4.1	1.5	31,283	10.7	140.5	7.2
10	5.3	0.8	2.5	18.0	22.8	7.1	25,226	19.6	137.2	6.6
11	0.6	3.7	5.8	49.7	20.8	5.3	17,569	7.2	150.2	7.2
12	1.5	1.9	3.2	17.2	31.9	-	12,455	44.0	99.6	42.7
2011 1	2.2	3.0	4.4	5.2	4.8	-	15,629	43.3	104.9	8.7
2	0.6	2.4	4.0	8.7	24.0	-	18,674	94.9	106.3	26.9
3	6.4	2.3	3.6	0.1	31.6	-	41,027	18.1	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	酒造連	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 電気製品卸売販売額は、2010年4月より調査先が7社から4社となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、泡盛出荷量は沖縄県酒造組合連合会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	入域観光客数		観光施設 入場者数
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	千人	前年比	前年比
2008	12,300	13.1	12.1	7.0	6.1	16.4	11.3	6,045.5	3.0	3.1
2009	11,747	4.5	22.1	3.1	0.9	23.1	9.4	5,650.8	6.5	10.9
2010	10,709	8.8	5.8	2.3	7.3	12.6	2.1	5,855.1	3.6	2.7
2010 2	845	11.9	31.3	5.6	12.6	16.1	3.4	447.0	8.1	1.4
3	715	45.6	22.0	5.2	0.5	18.4	4.5	544.9	1.4	9.5
4	687	32.2	63.5	10.8	7.1	22.4	8.9	471.9	5.2	7.1
5	782	4.5	108.8	8.9	22.2	29.3	17.6	465.0	9.9	2.3
6	924	8.7	10.6	8.2	0.7	40.8	8.3	427.7	0.2	4.3
7	1,157	25.5	45.6	11.3	16.3	22.9	14.1	543.0	2.9	3.1
8	1,064	10.8	73.2	13.3	21.7	8.1	12.9	635.7	5.6	0.3
9	873	9.2	10.1	2.3	5.8	24.8	7.0	550.8	6.9	1.2
10	905	11.4	17.9	10.2	4.7	7.4	9.2	499.5	4.1	7.2
11	1,122	23.4	31.4	7.5	9.3	7.3	17.4	430.9	1.1	2.5
12	871	22.9	53.7	5.3	4.3	8.8	21.9	420.4	2.3	0.9
2011 1	814	6.5	46.9	4.9	9.5	4.8	10.4	406.2	2.9	7.8
2	1,095	29.6	12.4	1.9	3.1	20.2	14.2	430.4	3.7	8.7
3	-	-	62.9	0.2	7.7	7.5	49.4	436.9	19.9	21.1
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ				沖縄県観光商工部 観光企画課		りゅうぎん 総合研究所	

注) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先が6施設から5施設となった。

## 沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		ゴルフ場 入場者数	広告収入	鉱工業生産指数 (季調値)		電力使用量	
	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比	2005年=100	前年比	百万Kwh	前年比
2008	70.7	80.6	1.6	1.0	3.1	4.8	98.8	1.1	3,417	0.9
2009	66.2	70.9	8.6	14.5	1.7	5.0	99.0	0.2	3,392	0.7
2010	68.7	71.2	3.3	3.2	1.8	2.8	-	-	3,395	0.1
2010 2	80.9	77.9	8.9	5.1	0.5	3.4	95.7	4.1	225	0.7
3	75.5	73.9	8.1	9.8	1.7	3.2	101.9	0.5	218	0.4
4	62.2	68.6	7.6	4.7	6.3	4.4	101.4	5.3	248	3.7
5	61.1	64.5	1.5	7.6	9.1	3.9	88.7	7.4	248	4.4
6	63.0	64.6	1.0	12.3	4.7	6.9	88.6	11.0	281	1.3
7	67.1	80.7	4.2	5.1	3.6	8.8	95.8	6.0	330	1.6
8	85.9	92.4	3.6	5.2	7.6	3.5	95.9	1.8	370	3.1
9	75.2	87.4	3.3	6.1	10.9	1.1	95.4	1.1	357	3.0
10	66.5	76.6	4.2	6.2	1.1	0.9	91.4	9.2	339	0.3
11	64.7	57.6	2.3	2.6	0.6	3.4	91.5	2.8	299	1.8
12	60.9	51.9	1.3	4.3	0.9	4.7	101.6	5.4	242	2.9
2011 1	65.0	58.3	0.1	2.6	5.8	3.9	97.3	1.0	239	0.0
2	79.2	71.4	0.6	7.5	2.0	1.0	-	-	223	0.7
3	63.6	58.7	17.1	20.4	7.6	-	-	-	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ						県企画部統計課		電気事業連合会	

注) ホテルは、2010年9月より調査先が18ホテルから19ホテルとなった。

注) ゴルフ場は、2006年10月より調査先が9ゴルフ場から8ゴルフ場となった。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2009年2月より2005年 = 100に改定された。

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人数 (県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2008	98	72,601	584.3	2.2	7.4	1.4	0.38	15.7	81,011	263,656
2009	75	25,070	65.5	0.5	7.5	2.8	0.28	7.5	47,752	182,334
2010	49	11,048	55.9	0.5	7.6	0.8	0.31	13.1	82,119	207,981
2010 2	5	1,310	125.5	0.7	8.1	0.8	0.30	5.9	5,907	14,100
3	2	325	7.1	0.5	7.9	1.7	0.30	23.4	4,999	20,506
4	2	276	77.4	0.9	8.2	1.0	0.31	25.7	8,072	23,741
5	2	95	95.2	0.6	7.5	0.8	0.30	5.4	2,269	7,839
6	8	922	73.9	0.7	6.3	1.4	0.31	16.6	1,040	6,942
7	4	549	4.4	0.9	6.3	0.3	0.31	15.8	12,718	26,526
8	2	63	97.8	0.7	7.7	1.4	0.31	0.3	17,470	21,184
9	8	5,042	562.5	0.7	7.9	0.8	0.33	34.2	1,162	16,584
10	5	662	52.1	0.1	8.1	0.3	0.33	11.7	13,460	14,763
11	6	859	62.5	0.1	7.2	2.1	0.33	16.6	2,536	11,498
12	2	450	46.6	0.2	7.7	1.8	0.31	12.1	9,009	25,450
2011 1	6	327	33.9	0.5	7.7	0.6	0.30	11.2	4,430	10,243
2	5	830	36.6	0.1	6.4	1.5	0.31	22.3	2,181	15,494
3	9	919	182.8	-	-	-	-	-	4,674	19,671
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関	

注) 消費者物価指数は、2006年7月より2005年 = 100に改定された。

注) 失業率は、2010年5月より原数値から季節調整値に変更し、遡って掲載した。

## 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (還収 超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2008FY	3,246	4,610	1,349	2.519	357	12.5	5,416	16.3	2,200	0.406
2009FY	3,124	4,330	1,203	2.435	325	8.8	4,889	9.7	1,206	0.247
2010FY	-	-	-	-	305	6.1	4,627	5.4	530	0.115
2010 2	263	307	43	2.426	24	8.7	359	4.7	206	0.574
3	257	409	152	2.409	31	4.1	502	6.1	120	0.240
4	341	232	109	2.419	26	7.1	449	4.5	46	0.103
5	140	466	326	2.429	26	3.2	400	15.5	51	0.126
6	297	294	3	2.419	27	13.8	392	15.1	24	0.062
7	239	311	71	2.421	24	16.5	323	24.2	14	0.044
8	297	427	130	2.418	29	5.5	469	17.7	26	0.056
9	314	497	183	2.411	25	4.6	399	0.8	33	0.082
10	290	377	86	2.413	22	10.1	340	6.0	27	0.079
11	261	375	113	2.411	27	4.3	375	8.2	81	0.217
12	579	218	361	2.403	25	6.8	321	16.8	25	0.079
2011 1	123	543	419	2.399	24	2.7	355	3.6	30	0.084
2	236	331	94	2.386	23	3.7	335	6.5	69	0.205
3	-	-	-	-	27	13.1	470	6.5	104	0.222
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協 会債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2008FY	32,831	1.8	27,035	1.7	47,297	2.1	11,156	4.4	1,792	47.0
2009FY	35,626	8.5	27,551	1.9	49,543	4.7	10,677	4.3	2,204	23.0
2010FY	38,117	7.0	27,573	0.1	-	-	-	-	-	-
2010 2	34,562	8.2	26,940	2.8	48,114	4.8	10,516	5.0	2,161	35.4
3	35,626	8.5	27,551	1.9	49,543	4.7	10,677	4.3	2,204	23.0
4	35,577	6.7	26,721	1.7	49,825	4.3	10,598	5.0	2,167	17.8
5	35,850	6.5	26,492	0.2	49,940	4.4	10,531	5.1	2,123	14.3
6	36,701	5.7	26,586	0.7	51,413	3.6	10,425	3.9	2,105	10.7
7	36,249	6.3	26,423	0.2	50,803	4.1	10,409	3.7	2,099	6.7
8	36,391	6.9	26,496	0.3	50,505	4.1	10,366	3.8	2,115	5.0
9	36,975	6.3	26,951	0.9	50,865	4.6	10,272	4.0	2,114	2.0
10	36,237	6.6	26,497	0.6	50,100	5.0	10,215	4.4	2,111	1.0
11	36,626	6.7	26,553	0.5	50,372	4.5	10,150	4.6	2,097	0.3
12	36,488	6.1	26,656	0.8	50,237	4.0	10,081	5.2	2,110	1.4
2011 1	36,442	6.7	26,671	0.5	49,805	4.2	10,009	5.6	2,088	3.0
2	36,887	6.7	26,990	0.2	P 50,203	P 4.3	9,956	5.5	2,073	4.1
3	38,117	7.0	27,573	0.1	-	-	-	-	-	-
出所	琉球銀行		琉球銀行		日本銀行那覇支店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) Pは速報値。